

資料 7

「4-6 公共交通の利便性の向上」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
バス停には吹きさらしの所もあり小さなボックスを設置してほしい。	・ボックスにつきましては、道路幅の関係から難しい状況です。	（審議会にてご意見をお願いします。）
駅周辺の方はJRが便利であるが、遠いところの方は本当に不便で車なしでは生活できない。免許を返納したら外出する回数も減り認知症になるのではと心配である。	・現状・課題及び取組方針①に記載しました。	
バスについて、交通機関としてのインフラではあるものの、民間事業者のため利益を出す必要があり、市民と認識のずれが大きい。人口減少に伴う利用客の減少、乗務職などの人材不足など、様々な問題に直面しており、今後のあり方について検討の必要がある	・現状・課題及び取組方針①に記載しました。	
免許返納後の不便はバスで対応できるものでもなく、今後バスを増やす方向も考えられない。当面はNPOや市民活動に期待するのもよいが、将来的な対応として自動運転コミュニティバスやAIを用いた集中コントロールによるオンデマンド自動乗り合いタクシーのようなシステムを考え始めて行かないといけない。	・自動運転は全国で実証実験が行われているところであり、今後の動向を注視して参ります。	
JRのダイヤについては年1回春のダイヤ改正にて利用状況にあわせ、利便性の良いものとしていくように努めている。	・日頃よりご協力いただきありがとうございます。今後ともご協力いただければと思います。	
野洲駅の点状ブロックの整備を含め、駅のバリアフリー化の推進にご協力いただき感謝している。駅のさらなる利便性向上に向けてのご協力をお願いする。	・日頃よりご協力いただきありがとうございます。今後ともご協力いただければと思います。	
まちづくりと公共交通が一体となった公共交通を利用しやすい施策の進展を期待する。	・現状・課題に記載していますように、公共交通で拠点を結ぶ多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を目指しています。	

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
<p>運転免許証返納後の移動手段としての公共交通の役割を市民はどう考えているのかの調査が必要。</p>	<p>返納者の意向等については、具体的な取組を進める中で、調査していきます。</p>	<p>(審議会にてご意見をお願いします。)</p>
<p>高齢化率の上昇とコミュニティバスの利用は比例するのかの見極めが必要。居住地域で期待は違ってくる。</p>	<p>巡回バスのあり方に関する具体的な検討の中で、ご指摘いただいた点に留意いたします。</p>	
<p>コミュニティバスの運行は民間のバス路線の補完とされており、投資対効果は検証するまでもない。補完ならば料金は同程度が妥当だが、なぜ、高齢者＝福祉の考え方で半額なのか。子育てには冷たく不公平に映る。</p>	<p>・子供については、未就学児は無料、小人は半額の料金設定となっています。</p>	
<p>コミュニティバスオンリーでなく、併用した使い勝手の良い仕組みも必要。同じ悩みを抱える自治体も多いと思われる。良いアイデアを調査してほしい。</p>		